

3年生保護者の皆様

令和4年度 3学年「理科」シラバス

学習の目標

自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育成することを目指します。

評価の観点

評価の観点	どんな学力か
知識・技能	自然の事物・現象について理解するとともに、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録する。
思考力・判断力・表現力	自然の事物・現象について、差異点や共通点などを基に、問題を見出す。
学びに向かう力	自然の事物・現象にすすんで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとするとともに、学んだことを学習や生活に生かす。

評価の方法

理科の学力は主に次のような方法で把握します。

- 授業態度 ○観察・実験中の技能 ○観察カード ○発言、発表 ○単元テスト
○小テスト ○ワークシート ○ノート ○提出物

学習計画

月	単元名	主な学習内容
4月	1 しぜんのかんさつ	・植物の様子を比較する能力を育て、植物は、色、形、大きさなどの姿が違うことを理解する。
	2 植物の育ち方(1) たねまき	・植物の成長過程を比較する能力を育て、植物の育ち方には一定の順序があることを理解する。
5月	3 こん虫の育ち方	・身近な昆虫について興味・関心をもって追究する活動を通して、昆虫の育ち方には一定の順序があることを理解する。 ・成虫の体は頭、胸及び腹からできていることを理解する。
	○ 植物の育ち方(2) 葉・くき・根	・身近な植物について興味・関心をもって追究する活動を通して、植物の育ち方には一定の順序があることや、植物の体は根、茎及び葉からできていることを理解する。
6月	4 ゴムや風の力	・ゴムの働きについて興味・関心をもって追究する活動を通して、ゴムの力は、物を動かすことができることを理解する。 ・風の働きについて興味・関心をもって追究する活動を通して、風の力は、物を動かすことができることを理解する。
7月	5 音のふしぎ	・音の性質について興味・関心をもって追究する活動を通して、物から音が出たり伝わったりするとき、物は震えること、音の大きさと震え方が変わることを理解する。
	○ 植物の育ち方(3) 花	・身近な植物について興味・関心をもって追究する活動を通して、植物の育ち方には一定の順序があることを理解する。
9月	6 動物のすみか	・身の回りの動物の様子やその周辺の環境について興味・関心をもって追究する活動を通して、生き物は、その周辺の環境と関わって生きていることを理解する。
	7 植物の育ち方(4) 花がさいた後	・身近な植物について興味・関心をもって追究する活動を通して、植物の育ち方には、一定の順序があることを理解する。
10月	8 地面のようすと太陽	・太陽と地面の様子について興味・関心をもって追究する活動を通して、日陰は太陽の光を遮るとでき、日陰の位置は太陽の動きによって変わることを理解する。 ・地面は太陽によって暖められ、日なたと日陰では地面の暖かさや湿りに違いがあることを理解する。
11月	9 太陽の光	・光の性質について興味・関心をもって追究する活動を通して、日光は、集めたり反射させたりできることを理解する。 ・物に日光を当てると、物の明るさや暖かさが変わることを理解する。
12月	10 電気の通り道	・電気の通り道について興味・関心をもって追究する活動を通して、電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方があることを理解する。 ・電気を通す物と通さない物があることを理解する。
1月	11 じしゃくのふしぎ	・磁石の性質について興味・関心をもって追究する活動を通して、物には、磁石に引きつけられる物と引きつけられない物があること、磁石につけると磁石になる物があることを理解する。 ・磁石の異極は引き合い、同極は退け合うことを理解する。
2月	12 ものの重さ	・物と重さについて興味・関心をもって追究する活動を通して、物は、形が変わっても重さが変わらないことを理解する。 ・物は、体積が同じでも重さが違うことがあることを理解する。
3月		

※上記の学習内容は主なものであり、全てではありません。

※学習の時期や順序は変更になる場合があります。詳しくは学年便りをご覧ください。

家庭学習でできること

- ヒマワリの種をまいて育ててみる。
- モンシロチョウやアゲハチョウ、バッタを飼って観察する。
- 学習した働きやしぐみが利用されている道具を探してみる。